



### 3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

#### ◆活動1 1年化女沼周辺の環境学習 2015年9月7日～12月16日

##### 1 目的

- ① 普段何気なく見過ごしている故郷の豊かな自然環境に関心をもたせ、環境学習を通してその素晴らしさを再認識させる。
- ② 化女沼周辺の自然環境の実態を知ることにより、自然や故郷を大切にすることを心や環境を保護しようとする態度を育てる。

##### 2 実践活動

- ① 化女沼の調査（1学年対象 2015年9月7日・9月14日実施）

化女沼について、地理的なこと、歴史的なこと、生息している植物、生物や野鳥、ラムサール条約などについてインターネットなどを使って調べ、まとめた。身近にあるにもかかわらず、知らなかったことがけっこうあり、生徒の化女沼に対する意識を高めることができた。

- ② 化女沼の自然に関する講演会（1学年対象 2015年10月28日実施）

NPO法人エコパル化女沼副理事長であり、宮城誠真短期大学の生物学講師である高橋和吉氏を講師に迎え、化女沼に生息する動植物の実態などについての講演を聴いた。化女沼の抱える課題や化女沼の保護の実情にも触れ、故郷の自然を守る必要性を認識した生徒が多かった。

- ③ 化女沼の野鳥に関する講演会（1学年対象 2015年11月13日実施）

雁の里親友の会事務局長である池内俊雄氏を講師に迎え、化女沼に飛来する野鳥の生態についての講演を聴いた。マガンの生態について詳しく学び、次回の野鳥観察会に向けて興味・関心を高めた生徒が多かった。



- ④ 野鳥観察会（1学年対象 2015年12月16日実施）

前回の講演会に引き続き池内俊雄氏を講師に迎え、野鳥観察会を実施した。マガンの群れの編隊を観察し、編隊を組んで飛ぶ理由や若鳥の比率などを導き出した。また、ガンと日本人の文化についても学んだ。生徒からは、「野鳥は身近にいるが、今日のように観察することはなかった。知識が増えた気がする」「化女沼は貴重。大切に守っていききたい」という感想が多く聞かれた。



### 3 事後の活動

#### ① 環境学習のまとめ

環境学習のまとめとして、作文を書いた。

#### 【 生徒の作文 】

野鳥観察会では、初めて知ったことがたくさんありました。その一つが、渡り鳥のお腹の白さについてです。皆さんもそうだと思いますが、飛んで行く鳥のお腹が白いかどうかなんて気にする人は少ないと思います。しかし、その白さによってその鳥の若さや、その年の繁殖が良かったかどうかさえも分かるのです。白いほど若く、若い鳥が多いほどその年の繁殖は良かったこととなります。これを聞いて私は、「そういう見方もあるんだな。」と思いました。私も小さなことに気が付く人になりたいと思いました。そして、以前よりもじっくりと野鳥を観察するようになりました。

私がこの地域の一員としてできることは数少ないですが、ゴミ拾いなどのちょっとしたことで、植物や動物など自然のために役に立ちたいと思います。そして、化女沼の自然環境について真剣に考え、この地域に住む中学生としてできることを、もっと考えていきたいと思っています。

### ◆活動2 3年被災地（石巻市）ボランティア活動 2015年11月24日

#### 1 目的

- ① 東日本大震災での沿岸部における被災の状況と、復興の現状を確認することで、災害に対する正しい理解を促す。
- ② 被災地の方々への支援活動を通して、社会の一員としての自覚と奉仕の精神を養う。
- ③ 被災地の方々との触れ合いを通し、人の痛みや温かさを感じる心を養う。

#### 2 事前の活動

##### ① 被災地への募金の呼びかけ（2015年10月24日実施）

3学年の被災地支援活動実行委員会が、文化祭で全校生徒や保護者、地域の方々に募金を呼びかけた。集まった募金は、被災地ボランティアでの贈り者の費用などにあてた。



##### ② ポスターによる交流会の呼びかけ

被災地支援活動実行委員会でポスターを作成し、仮設団地の自治会長さんに依頼して団地内の掲示板に掲示していただいた。

### 3 実践活動「石巻市訪問」（2015年11月24日）

#### ① 活動1 被災地見学

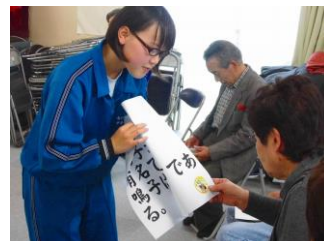
午前中に、バスで石巻市の門脇地区を見学した。門脇小学校は震災の津波で校舎が火災を起こし、今もそのままの姿をとどめている。生徒は1年生の時にも石巻市を訪れているが、この2年間の復興により、校舎前には道路が整備され、区画整理が行われていた。校舎正面にはシートが掛けられており、その姿を見ることはできなかったが、裏



からは焼けた教室などが見え、生徒にとっては衝撃的だったようだ。門脇小学校からは、当時の小学生が逃げた裏山の道を上って実際に日和山公園まで移動した。公園からは、石巻港などの様子がよく見え、少しずつではあるが復興が進んできていることが分かった。

## ② 活動2 仮設団地住民の方々との交流活動

昼頃には、石巻市の仮設大橋団地を訪れ、仮設団地の住民と交流活動を行った。まず、団地の自治会長さんから当時の様子や復興の状況、現在の課題などを説明していただいた。その後、一緒に昼食を食べ、



合唱やクイズなど、クラスごとに生徒が考えた内容で交流を図った。生徒からは、「2年前と上京が変わっていることがよく分かった。震災をしっかりと伝えていきたい」という感想が聞かれた。

## ③ 活動3 仮設団地の清掃活動

午後からは、クラスごとに分かれて仮設団地内の清掃活動を行った。ゴミ拾いや草取りなど、住民の方々が日頃十分にできないことを見つけて行った。



## 4 事後の活動

### ① 支援活動のまとめ

被災地ボランティア活動のまとめとして、生徒全員が感想文を書いた。活動を振り返らせることで、ボランティア活動への意識を高めることができた。

#### 【 生徒の作文 】

私たち3年生は、11月24日に石巻ボランティアに行き、石巻市の復興の状況を自分たちの目で確かめて来ました。まず、門脇小学校へ行きました。小学校の周りには住宅が建っていて、復興の状況が感じられましたが、門脇小学校は時が止まっているように2年前に見たときと変わっていませんでした。

次に、仮設大橋団地に移動して団地の方からお話をいただきました。お話を聞いた後は、1クラスごとに考えた出し物をし、交流活動をしました。どのクラスも盛り上がっていて、よかったです。最後に、3クラス全員で「心一つに」を歌いました。皆さんに喜んでもらえて、とてもうれしかったです。

今回の石巻ボランティア活動を通して、復興が進んでいることが分かりました。これからもボランティア活動を続けていきたいです。

## ◆今年度の成果と課題

### 1 成果

#### ① 活動1より

- ・事前に講演会を開催したことで、化女沼や生物の生態についての基礎的な知識を習得し、野鳥観察会へのモチベーションを高めることができた。

- ・実際に野鳥を観察したことで、自分たちが住んでいる地域の素晴らしさに改めて気付くことができたとともに、地域の環境を大切にしようとする心が育った。
- ・野鳥など身近に生息する生物に対する意識が高まり、自分たちよりも小さいものや弱いものを守ろうとする思いやりの気持ちが育った。
- ・活動全体を通して、自分たちが豊かな自然の中で生活できていることを意識でき、故郷の自然への感謝の気持ちとこの環境をいつまでも保存していこうとする気持ちが育った。

## ② 活動2より

- ・事前に実行委員会を組織し、仮設住宅の住民のためにできることを自分たちで考え、実践したことで、生徒の主体性が養われた。
- ・募金活動を行うなど、昨年度の先輩が行った活動を自分たちも継続していこうとする意識が高まった。
- ・文化祭で募金を呼びかける時に、昨年度の活動や今年度の活動内容などを紹介するなど、生徒自ら地域の人々に発信することができた。
- ・被災地見学では、2年前にボランティアで訪れた時の状況と今回の状況を比較し、復興の現状と課題を直に考える機会となった。
- ・仮設団地の自治会長さんから説明を受けたことで、自分たちが今後どのように震災と向き合うべきかを考えることができた。
- ・仮設団地の方々との交流では、団地の方々が被災しながらもたくましく生きていることに触れ、今後の自分の生活を見直す機会となった。
- ・清掃活動を通して、自分が今できることに一生懸命に取り組み、今後もこの活動を続けて行こうという意識が高まった。

## ③ 活動全体を通して

- ・今回の活動が、多くの人々からの協力と関わりの中で行われたことに気付いたことで、人と人との絆やお互いを思いやる気持ちの大切さを理解できた。
- ・地域の環境保全や防災意識が高まったことで、これから地域の一員として自分が取るべき行動や果たすべき役割などについて考えることができた。
- ・今回の経験を通して、将来、生徒たちが地域の復興や活性化のために尽力してくれるという手応えが感じられた。

## 2 課題

- ・今年から新しく1学年の環境学習を立ち上げた。学習の進め方や内容も手探り状態でのスタートとなったが、観察のための機材等の整備や生徒の主体性の確立、今後の継続性など、環境学習の計画的な進展が課題である。
- ・被災地ボランティアも、仮設団地の住民の減少や廃止などにともない、新たな内容の検討が必要である。現在のつながりを継続させていけるような活動計画が必要である。
- ・生徒が学んだことを地域に発信する場の設定を多くしたい。地域とともに学習を進めていくことが大切である。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）